

## 第36期 第2四半期報告書

2011.7.1 →→→ 2011.12.31



### 株主の皆様へ

**タイ洪水に伴う影響は一時的なものであり、  
当社グループの中長期的な成長戦略に変更はありません。**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。  
当社の第36期第2四半期報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

❗ **売上高はほぼ横ばい、  
四半期純利益はタイ洪水の影響を受け大幅減**

2012年6月期第2四半期業績につきましては、売上高は為替(円高・ドル安・ユーロ安)、タイ洪水、国内直販化に向けた代理店在庫圧縮などの影響による減収要因があったものの、メディカル事業を中心とした取引増加などにより、前年同期比ほぼ横ばいの7,899百万円となりました。営業利益は、研究開発費用や営業関係費用などの販売費及び一般管理費が増加したため、同3.7%減の1,741百万円、経常利益は為替差損の減少に伴い、同0.8%増の1,728百万円となりました。また、四半期純利益は、洪水に伴う災害保険金504百万円を特別利益に、災害による損失1,156百万円を特別損失に計上したことなどから、同53.3%減の609百万円となりました。

❗ **当社グループの総力を挙げて代替生産の体制強化に注力**

2011年7月下旬から発生したタイ洪水の影響で、多くの日系企業をはじめ、当社グループも被害を受けましたが、現在、洪水によるサプライチェーンの停滞影響を補うため、当社グループの総力を挙げて代替生産の体制強化に向けて注力しています。

洪水の影響は一時的なものであり、医療機器市場の末端需要は堅調に推移していることから、2011年7月にスタートした中期経営計画「Next Stage 2016」の基本戦略に変更はありません。

株主の皆様におかれましては、従来にも増してご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2012年3月



代表取締役社長

畑田 昌彦

# タイ洪水の影響について

2011年7月下旬から続いた大雨の影響で、タイ各地で大規模な洪水が発生し、多くの日系企業が被害を受けました。当社グループは、バンコク郊外のバンガディ工業団地に連結子会社ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. (タイ工場)があり、タイ工場では従業員の安全確保と資産保全のため、同年10月12日から操業を停止し、10月24日に国内の当社瀬戸工場・大阪R&Dセンター、ベトナムの連結子会社ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. (ハノイ工場)、朝日インテック ジーマ(株)やフィルメック(株)などのグループ各社での代替生産を決定しました。それに伴い、タイ工場の主要従業員を、瀬戸工場・大阪R&Dセンターおよびハノイ工場に一時的に派遣しています。12月7日にタイ工場では復旧作業を開始し、本年2月下旬より一部の組み付け作業を再開、4月より本格稼働を再開する予定です。

今回の洪水を教訓として、当社グループではタイ工場での設備配置の変更、生産体制の分散化、事業継続計画(Business Continuity Plan)プロジェクトの発足など、今後のリスク回避や対策をグループ一丸となって推進していきます。

## ▶ タイ工場本格稼働再開までの復旧タイムライン



## ▶ 代替生産の対応状況

### 代替生産体制

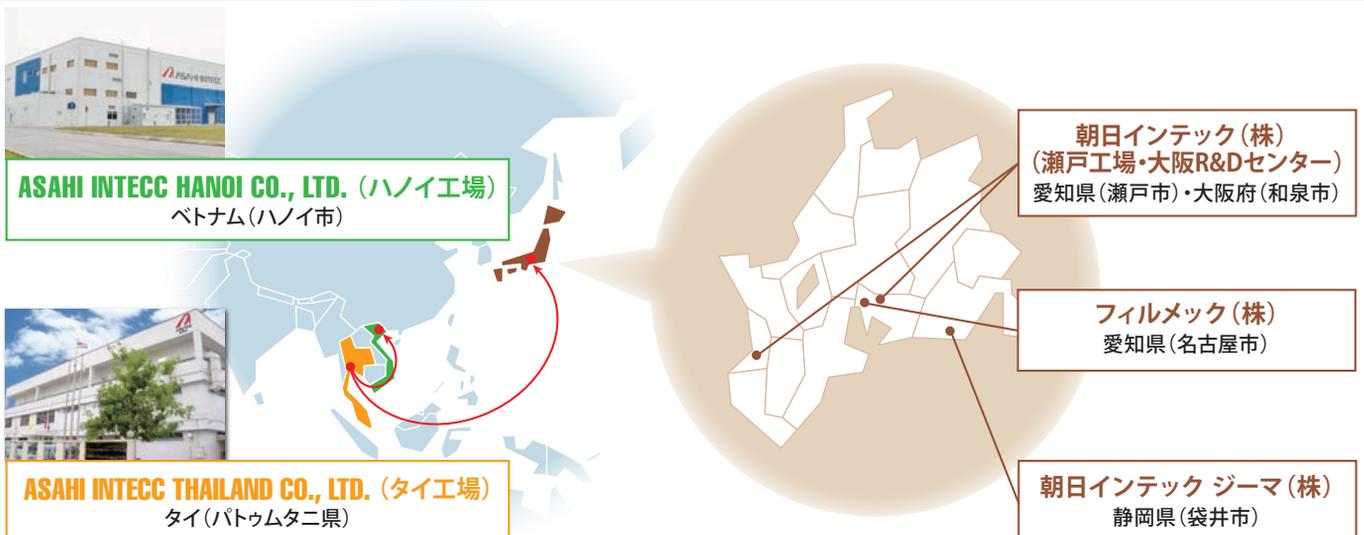
朝日インテック(株)(瀬戸工場・大阪R&Dセンター)、ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.(ハノイ工場)、朝日インテック ジーマ(株)、フィルメック(株)などのグループ各社において代替生産

### その他の対応状況

タイ工場の主要従業員を、瀬戸工場・大阪R&Dセンターおよびハノイ工場に一時的に派遣

200名を目処に受け入れ

300名を目処に受け入れ



# 販売戦略

当社グループは現在、世界85の国と地域へ製品を供給しています。当社グループの製品が使用される血管内疾患の症例数は、今後もグローバル規模でますます拡大することが予測されます。こうした中、とりわけ、日本、欧州、中国、米国の各市場では、販売・マーケティング機能を強化し、グローバル規模での収益基盤の強化を図っていきます。

## 欧州 地域密着型の現地代理店への切替えが順調に進行

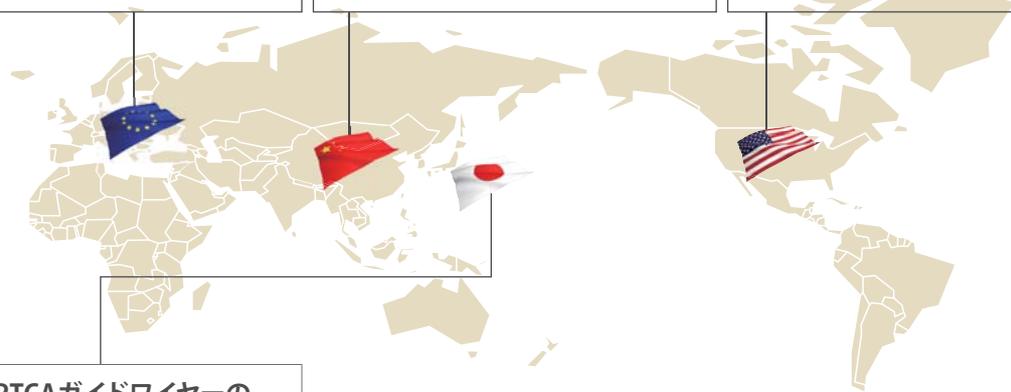
当社が開発・製造するPTCAガイドワイヤーは、2011年7月より当社のEU支店が現地に密着した複数の代理店を通じて販売を行う体制に変更しましたが、その切替えは順調に進行しています。これにより、総合的な製品供給が可能となり、ラインナップ拡充によるシナジー効果を発揮して、「ASAHIブランド」製品のさらなる市場シェア拡大を目指します。

## 中国 販売子会社「朝日英達科貿(北京)有限公司」を設立

アジア圏においては成長が著しい中国市場を最重要視しています。2011年11月8日に朝日英達科貿(北京)有限公司を設立し、営業開始は2012年4月頃を予定しています。現地の代理店に密着したバックアップ体制を充実させることにより、急速な拡大が続く中国市場において、さらなる市場シェアの拡大を目指します。

## 米国 成長製品の販売チャネルを多様化

冠動脈狭窄部貫通用カテーテル「ASAHI Corsair」および「Tornus」の米国市場への販売について、これまで米国大手アボット ラボラトリーズ社を通じて行っていたが、2012年1月1日より連結子会社ASAHI INTECC USA, INC.が直接行うこととなりました。このように、当社独自の販売網を活用することで、さらなる市場シェアの拡大を目指します。



## 日本 PTCAガイドワイヤーの直接販売を開始

当社の国内販売は、大手販売代理店を通じて行われてきましたが、2012年1月23日より連結子会社朝日インテックセールス(株)が、病院(病院窓口代理店を含む)などに対して直接販売する体制に変更しました。これにより、納入単価・数量のアップを通して、収益構造の強化を図ります。

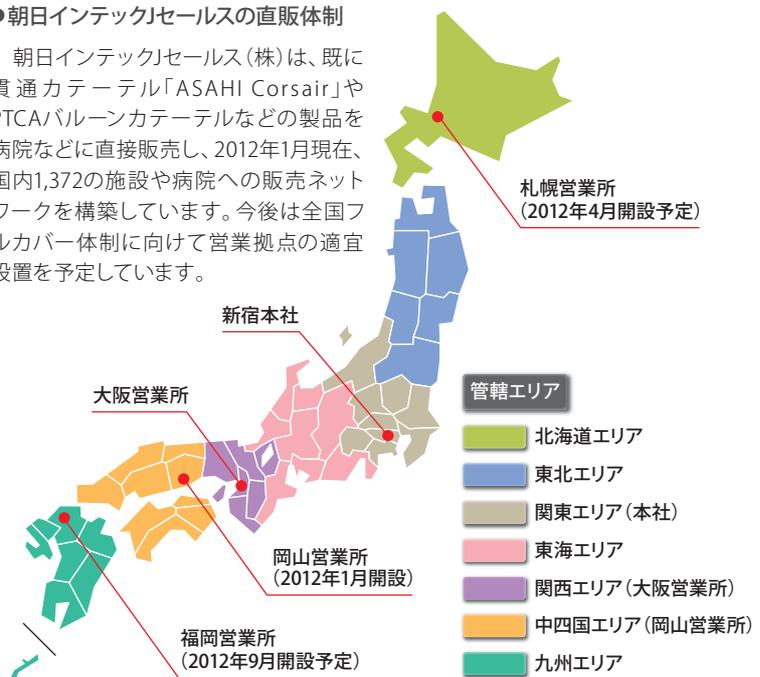
### ●朝日インテックセールスの直販体制

朝日インテックセールス(株)は、既に貫通カテーテル「ASAHI Corsair」やPTCAバルーンカテーテルなどの製品を病院などに直接販売し、2012年1月現在、国内1,372の施設や病院への販売ネットワークを構築しています。今後は全国フルカバー体制に向けて営業拠点の適宜設置を予定しています。

預託施設数 2012年1月  
1,372施設

全国カバー率 96%

(2009年PTCA実施施設 1,431施設)



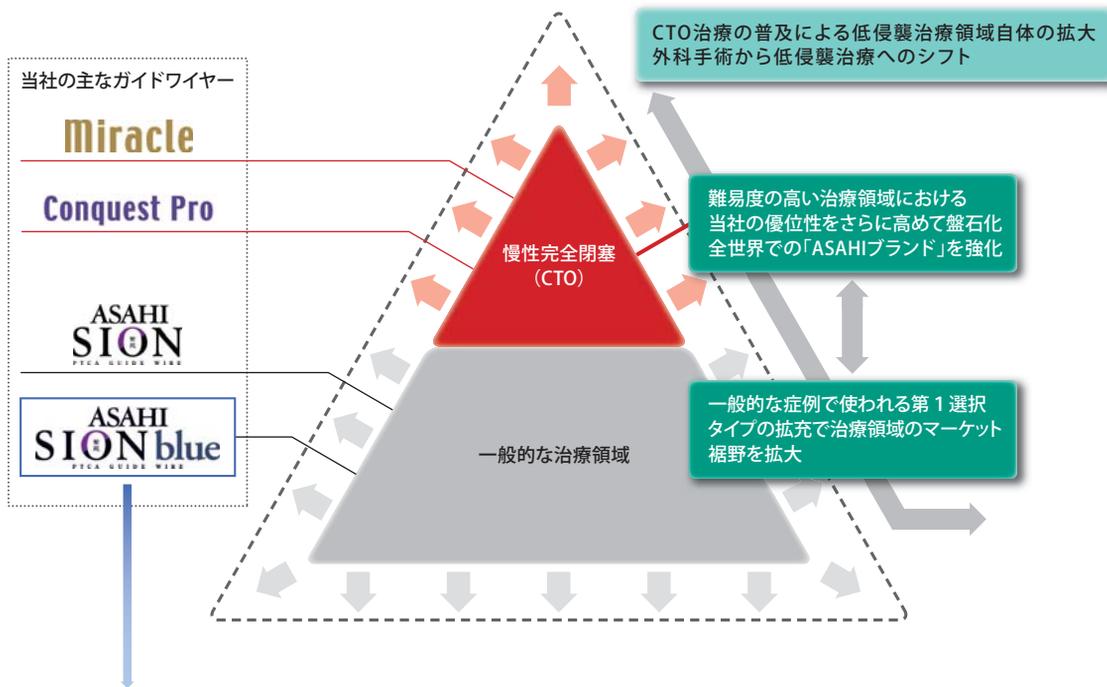
## 技術・製品紹介

当社は、研究開発型企業として、競争力の高い製品群を日々開発しています。当社のPTCAガイドワイヤー\*はこれまで、難易度が高く特殊な治療領域である慢性完全閉塞(CTO)\*治療において、高い優位性を保持してきたため、全世界で「ASAHIブランド」の認知度・浸透度の向上を実現することができました。同時に、裾野が広い一般的な治療領域にもマーケットを拡大し、2009年7月にPTCAガイドワイヤー「ASAHI SION」を、2011年3月には、さらに操作性を追求した「ASAHI SION blue」を発売開始しました。

特殊なCTO治療の領域だけでなく、裾野が広い一般的な治療領域においても、当社はマーケットを拡大し、さらなるシェア拡大を目指していきます。

\*PTCAガイドワイヤー / 狭心症や心筋梗塞の治療法であるPTCA(経皮的冠動脈形成術)で使用する治療製品です。

\*慢性完全閉塞(CTO:Chronic Total Occlusion) / 長期間完全に閉塞した状態の病変のこと。従来は、このような病変は外科手術(バイパス手術)の領域でしたが、当社がCTOにも使用可能なPTCAガイドワイヤーの開発に成功したことから、現在では、国内においてはPTCA治療(循環系における低侵襲治療)が主流となっています。



### ▶PTCAガイドワイヤー「ASAHI SION blue」

「ASAHI SION blue」は、高い安全性と操作性を持った一般的な症例で使われる第1選択タイプのPTCAガイドワイヤーです。安全性を実現するために、先端部分の柔軟性と滑り性の両面を考慮し設計され、当社独自のコア技術である「トルク技術\*」により、複雑な手技においても高い操作性と先端の耐久性を兼ね備えた製品となりました。そのため、一般的な治療から難易度の高い治療まで、複数の血管の治療にも使用が可能です。

「ASAHI SION blue」は、2011年3月末より本格的に国内発売され、競合製品に比べ広範囲の症例に使用できると、多くのドクターから高い評価を頂いており、今後さらなるマーケットシェアの拡大が見込まれます。

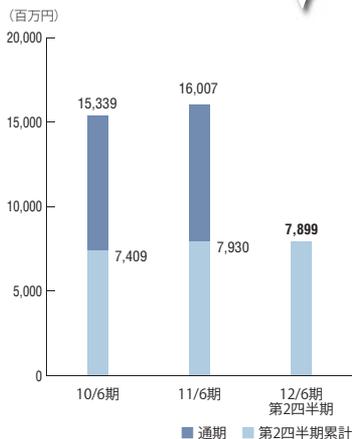
\*トルク技術 / 当社独自の加工設備と高い技術力を駆使し、ワイヤーやワイヤーロープに高度な回転追従性を持たせる技術のことです。

# 連結財務データ

## 売上高

売上高 前年同期比**0.4%減**

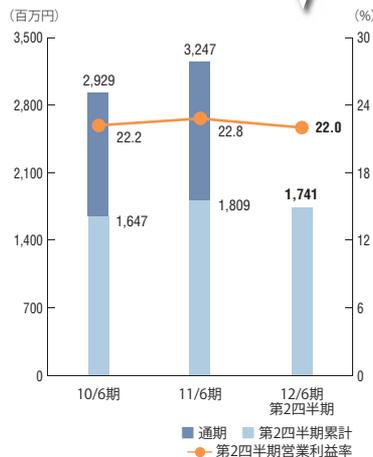
円高、タイ洪水、国内直販化に向けた代理店在庫の一次的調整などがあったものの、メディカル事業を中心とした取引増加により、ほぼ横ばいとなりました。



## 営業利益／営業利益率

営業利益 同**3.7%減**

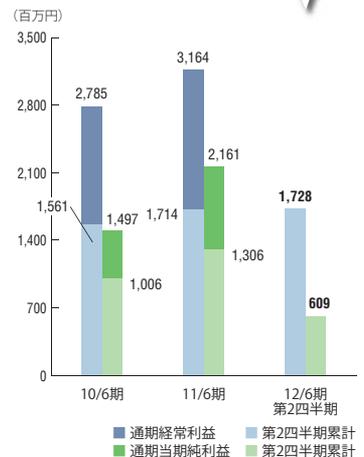
開発強化に伴う研究開発費用や営業関係費用の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加傾向にあるため、前年同期に比べ減益となりました。



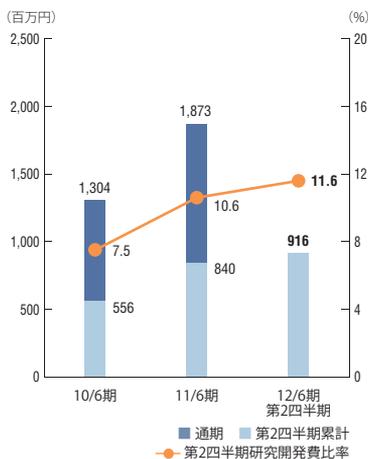
## 経常利益／四半期(当期)純利益

経常利益 同**0.8%増** 四半期純利益 同**53.3%減**

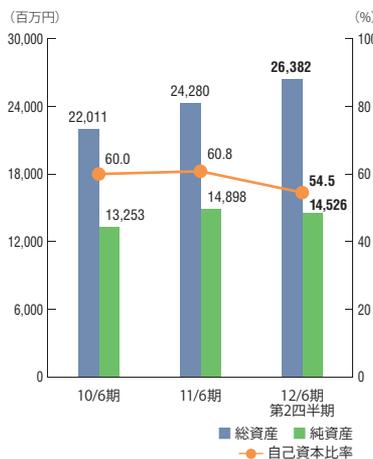
経常利益は為替差損の減少に伴い、前年同期に比べ増益、四半期純利益はタイ洪水に伴う保険金収入があったものの、災害損失の発生に伴い大幅減益となりました。



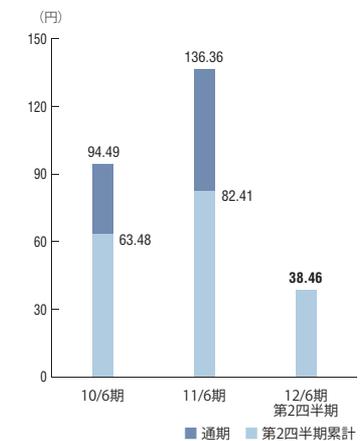
## 研究開発費／研究開発費比率



## 総資産／純資産／自己資本比率

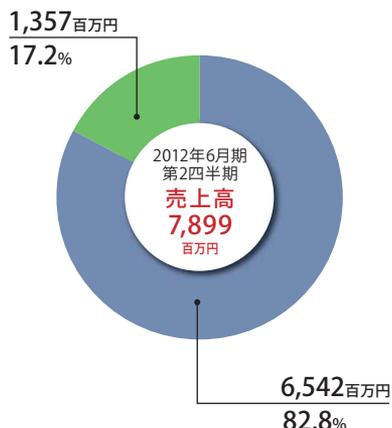


## 1株当たり四半期(当期)純利益



## セグメント別売上高

▶%は売上高構成比



### ●メディカル事業

国内では、循環器系領域の「ASAHI SION」シリーズ\*を中心としたPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル「ASAHI Corsair」、またOEM供給品などの販売が好調に推移したことにより、売上高は増加しました。

一方、海外では、欧州並びに中国市場を中心とした取引が好調に推移したものの、円高、タイ洪水の影響による米国市場での一時的な供給調整などにより、売上高は減少しました。

以上の結果、メディカル事業の売上高は前年同期比3.1%増の6,542百万円となりました。

\*「ASAHI SION」シリーズの概要については、技術・製品紹介をご参照ください。

### ●デバイス事業

当事業は、医療機器分野と産業機器分野での部材を取り扱っています。産業機器分野での部材製品は、海外の自動車市場向けの供給は増加したものの、タイ洪水による生産停止に対し、同業他社の協力を得て供給確保に努めましたが、供給が一時的に滞るなどし、売上高は減少しました。

医療機器分野の部材製品は、円高によるマイナス影響を受けたものの、米国向け循環器血管検査用機器に使用される医療部材が増加するなどし、売上高は増加しました。

以上の結果、デバイス事業の売上高は前年同期比14.3%減の1,357百万円となりました。

# 会社概要・株式情報・株主メモ

## 会社概要 (2011年12月31日現在)

商号	朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)
設立	1976(昭和51)年7月8日
資本金	41億7,179万円
従業員数	連結 3,002名 / 単体 381名
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第二部) 名古屋証券取引所(市場第二部) 大阪証券取引所(JASDAQ市場)
主な事業内容	①循環器系疾患の治療および診断分野においての 低侵襲治療製品(治療用カテーテルシステム、 検査用カテーテルシステム)の開発・製造・販売 ②消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野 における低侵襲治療製品および医療部材の開発・ 製造・販売およびOEM供給 ③産業機器用極細ステンレスワイヤーロープの開発・ 製造・販売

## 役員 (2011年12月31日現在)

代表取締役会長	宮田 尚彦
代表取締役社長	宮田 昌彦
専務取締役	竹内 謙次
常務取締役	福井 芳彦
常務取締役	宮田 憲次
取締役	湯川 一平
取締役	加藤 忠和
常勤監査役	渡辺 行祥
監査役	佐藤 昌巳
監査役	大林 敏治

(注) 監査役佐藤昌巳、大林敏治は、社外監査役であります。

## 事業所

### 国内事業所

営業拠点	東京	東京都新宿区
	名古屋	愛知県瀬戸市
	大阪	大阪府和泉市
メディカル事業	瀬戸工場	愛知県瀬戸市
大阪R&Dセンター		大阪府和泉市

### 海外事業所

香港支店	中国 香港
EU支店	オランダ アムステルダム
シンガポール支店	シンガポール ビンチャン地区
北京駐在所	中国 北京市朝陽区

### 子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.	タイパトウムタニ県
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.	ベトナム ハノイ市
ASAHI INTECC USA, INC.	アメリカ合衆国 カリフォルニア州
フィルメック株式会社	愛知県名古屋
朝日インテックJセールス株式会社	東京都新宿区
朝日インテックジーマ株式会社	静岡県袋井市

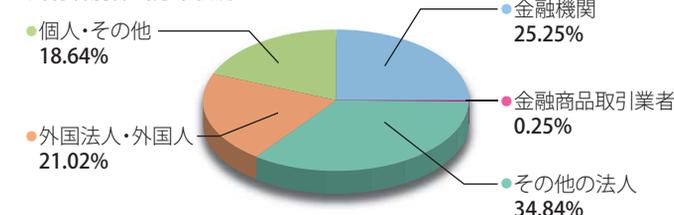
## 株式情報

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,856,100株 (自己株式230株を含む)
株主数	2,372名
大株主 (2011年12月31日現在)	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アイシーエスピー(有)	2,273,000	14.33
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,275,900	8.04
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	863,100	5.44
セント・ジュード・メディカル(株)(旧(株)ゲッツブラザーズ)	708,000	4.46
(株)ハイレックスコーポレーション (旧日本ケーブルシステム(株))	600,000	3.78
宮田昌彦	467,500	2.94
宮田憲次	463,500	2.92
JFK(株)	449,000	2.83
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リノーザントラスト ガンジー アイリッシュクラリアンツ	443,190	2.79
(株)ホギメディカル	425,800	2.68

(注) 持株比率は自己株式(230株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ <a href="http://www.asahi-intecc.co.jp/">http://www.asahi-intecc.co.jp/</a> に掲載します。 但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。